

特別区長会との「ゼロカーボンシティ特別区」の実現に向けた 連携協定の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、東京 23 区（以下、「23 区」）の区長が組織する特別区長会（会長：吉住 健一）との間で、「ゼロカーボンシティ特別区」の実現を図ることを目的に、本日、連携協定を締結しました。

みずほ銀行は 23 区とともに、顧客基盤を生かし外部パートナーとの連携も図りながら、中小企業をはじめとする事業者の脱炭素化への支援等 2050 年までに 23 区全体として二酸化炭素実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ特別区」の実現に向けて取り組んでいきます。

〈みずほ〉は気候変動への対応を最重要な経営課題の一つとして位置づけ、CSuO（Chief Sustainability Officer）の設置を始めとしてサステナビリティ推進体制を強化するとともに、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。強みである産業・環境知見、公共セクターとのリレーションを生かし、官公庁や外部パートナー等とも連携して環境・社会課題解決に向けた金融・非金融のソリューション提供に積極的に取り組み、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）を目指してお客さまとともに挑戦していきます。

みずほ銀行は、23 区の指定金融機関として、これまでも 23 区と各方面で連携を図ってきましたが、本協定締結により、脱炭素・サステナビリティ分野においてさらなる連携を図り持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以 上